

2026年4月24日

Japan Institute for Health Security

国立健康危機管理研究機構

配信先：厚生労働記者会 厚生日比谷クラブ

国立健康危機管理研究機構（JIHS）とドイツ大学病院ネットワーク（NUM）が感染症研究分野における連携強化に向け協力覚書を締結 ～ 日独の研究基盤をつなぎ、感染症危機への備えを強化 ～

2026年4月15日、ベルリン — 国立健康危機管理研究機構（Japan Institute for Health Security: JIHS）と、ドイツの大学病院による臨床研究ネットワークであるドイツ大学病院ネットワーク（Network of University Medicine: NUM）は、感染症研究分野における将来的な科学協力の枠組みを定める協力覚書（Memorandum of Understanding: MoU）を締結しました。これにより、日本とドイツの間で、臨床研究、疫学研究、研究基盤整備および公衆衛生上の備えに関する二国間連携を一層推進していきます。

本覚書に基づき、両機関は、感染症分野における国内関係者を結ぶ研究主導型ネットワークの構築に向けて協力するとともに、日本とドイツそれぞれの研究基盤の連結を進めていきます。具体的には、ネットワーク形成、ガバナンス、研究インフラ、技術、ベストプラクティス等に関する知見の共有に加え、感染症の理解とマネジメントの向上に資する共同研究の実施を目指します。

協力の範囲には、ガバナンス体制やステークホルダー参画に関する経験の統合、多施設共同臨床研究の共同企画・実施、臨床・疫学研究における方法論やプロトコルの共有、人材交流・合同研修の推進、さらに共同会合、学術会議および代表団往来の実施が含まれます。本覚書の有効期間は3年間であり、双方の合意により更新が可能です。

また、本覚書の締結にあわせて、2026年4月15日にベルリンにおいて「JIHS-NUM Bilateral Symposium」が開催されました。同シンポジウムでは、午前中の内部セッションにおいて研究ネットワークのガバナンスや運用プロセスに関する意見交換が行われ、午後のハイブリッド形式シンポジウムでは、ウイルス性出血熱/SFTS、薬剤耐性（AMR）、重症急性呼吸器感染症（SARI）／急性呼吸器感染症（ARI）のサーベイランス、リポジトリを活用した研究の4分野を中心に、日独の専門家による議論が行われました。

NUMは、ドイツ国内の37大学病院すべてを結ぶ臨床研究ネットワークとして、前向き臨床研究および臨床疫学研究を支える研究基盤を整備してきました。一方、JIHSは、感染症インテリジェンス、研究開発、臨床機能および国際協力を統合した日本の中核機関として、

感染症危機への備えと対応能力の強化を担っています。両機関は、それぞれの強みを生かしながら、将来の感染症危機に備えるための実践的かつ質の高い連携を推進していきます。

NUM の Ralf Heyder 氏（NUM 調整オフィス長）は「本覚書は、感染症研究における国際連携の強化に向けた、我々の共通のコミットメントを示すものです。」と述べ、J. Janne Vehreschild 教授（フランクフルト・ゲーテ大学医学部デジタル医療・臨床データ科学研究所所長／SNID 主任研究者）は「ドイツと日本の研究エコシステムを結びつけることで、科学的交流の加速、高品質な多施設共同研究の推進、そして将来の健康危機への備えに資する持続的なパートナーシップの構築を目指します。」と述べています。

国立健康危機管理研究機構の国土典宏理事長は、次のように述べています。

「JIHS は、感染症分野における統合的な科学、臨床研究、そして国際連携の推進に取り組んでいます。NUM との本パートナーシップを通じて、研究ネットワーク、ガバナンス、臨床研究の実施体制に関する協力を深化させるとともに、日本とドイツの専門家・機関の間で相互学習をさらに進めていきたいと考えています。」

今回の連携は、将来の感染症危機に効果的に備えるためには、強固な研究基盤、信頼に基づく機関間連携、そして継続的な国際交流が不可欠であるという共通認識を反映したものです。ベルリンでのシンポジウムを出発点として、両機関は、今後、本覚書に基づく具体的な協力活動に向けた協議を進めていく予定です。

NUM について

ドイツ大学病院ネットワーク（Network of University Medicine: NUM）は、ドイツ国内の 37 大学病院すべてが参画する共同臨床研究ネットワークです。2020 年 4 月、新型コロナウイルス感染症への対応として設立され、当初は全国レベルでの COVID-19 臨床研究の調整を担っていましたが、その後、多施設共同臨床研究全般を支える枠組みへと発展しています。

詳細は以下を参照。[Network of University Medicine | Network of University Medicine](#)

JIHS について

国立健康危機管理研究機構（Japan Institute for Health Security : JIHS）は、感染症およびその他の健康危機への備えと対応能力の強化を目的とする日本の国立機関です。国立感染症研究所（NIID）および国立国際医療研究センター（NCGM）の統合により設立され、感染症インテリジェンス、研究開発、臨床機能および国際協力を統合した科学拠点として機能しています。

詳細は以下を参照。[国立健康危機管理研究機構 \(Japan Institute for Health Security : JIHS\)](http://www.jihs.go.jp)

【問い合わせ先】

国立健康危機管理研究機構

危機管理・運営局 広報管理部

Tel : 03-3202-7181 E-mail : press@jihs.go.jp

NUM 広報窓口

Head of Public Relations: num-presse@charite.de

SNID: snid@sn.netzwerk-universitaetsmedizin.de



シンポジウム参加者による集合写真
写真提供：JIHS/NUM



JIHS/NUM 関係者による MoU 署名式
写真提供：JIHS/NUM